

排水対策を徹底し、年内生育量を確保しましょう

根の活力向上と、年内生育量の確保のために、「排水溝の手直し」や「排水口への連結・掘り下げ」を行い、降雨による停滞水を早期に排出しましょう。

○目標茎数：播種1か月後 570本/m²程度 越冬前 600～800本/m²

1 播種作業（播種作業が終わってない場合）

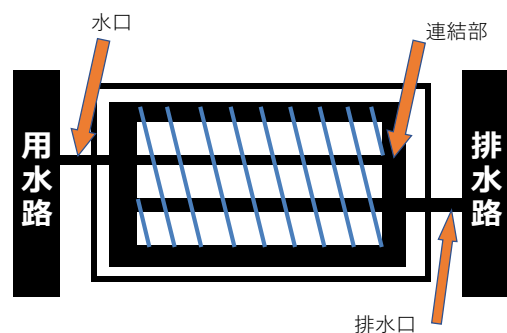
- ・目標茎数を確保するため、速やかに播種を行ってください。
（10月中旬の播種量目安 8.5kg/10a程度）

2 排水対策

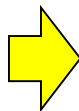
✓チェックポイント

- 水口が止められているか。
- 排水溝に水が溜まっていないか。
- 排水溝が崩れて埋まっていないか。
- 排水口を深く掘り下げ排水されているか。

圃場のチェック箇所



【例】排水溝に水が溜まっている場合



3 雑草防除

- ・除草剤の散布時期は、「リベレーターG」は「播種後～麦2葉期」、「リベレーターフロアブル」は「播種後～麦3葉期」です。遅れないように散布しましょう。
- ・1年生広葉雑草(カラスノエンドウを除く)が多い場合は、「エコパートフロアブル」を散布しましょう。

散布時期	除草剤名	適用雑草	10a当り散布量	散布方法
大麦節間伸長開始期まで (広葉雑草2～4葉期) 収穫45日前まで	エコパートフロアブル	1年生広葉雑草	50～100ml (水100ℓに希釈)	雑草茎葉散布または、 全面土壌散布